

## 第二のふるさとの子どもたちへ

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

3月2日、町は企業版ふるさと納税により寄付を頂いた株式会社ハウディ(熊本市)に感謝状を贈りました。

町立保育所の給食食材を納入している同社。今回の寄付は子ども・子育て推進プロジェクトに賛同したもので、子育て支援体制の充実に活用されます。

感謝状を受け取った富永哲生代表取締役は「先祖が旧津森村の村長、親戚が3代目町長で、富永家にとって益城は第二のふるさとです。震災10年、そして会社設立65周年の節目に町の発展に貢献したい」と話しました。



西村町長から感謝状を受け取った富永代表取締役



JALスタッフたちの指導の下、心を込めて紙ヒコーキを折る

## 紙ヒコーキにサンジへの思いを込めて

サンジ誕生日セレモニーとJAL折り紙ヒコーキ教室

サンジ誕生日セレモニーとJAL折り紙ヒコーキ教室が3月3日、キズナアリーナで開催されました。

教室では、折り紙ヒコーキ協会認定の指導資格を持つ日本航空(株)(JAL)の社員を講師に迎え、広安西小3年生約120人が「ONE PIECE」のキャラクター「サンジ」の誕生日を祝うための紙ヒコーキ作りに挑戦。

完成した紙ヒコーキを、「サンジお誕生日おめでとう!」の合図で一斉にテイクオフ。アリーナは児童たちの歓声と、たくさんの紙ヒコーキで埋め尽くされました。

第9回  
益城町  
町民表彰

町民の模範となる行為をした人や、公益のために私財の寄附をした人を表彰する、第9回「益城町町民表彰」授与式が3月3日、町役場で行われました。

### 町民表彰 受賞者 はたのひさお 畑野久雄 様

鎮西高等学校男子バレーボール部の監督としてチームを通算10回の日本一に導く。50年以上にわたり選手の育成に努め、日本バレーボール界の発展に多大な貢献を果たした。

### 特別表彰 受賞者 しがでつたろう 志賀哲太郎 様

台湾台中市大甲区の教育に生涯をささげ、「大甲の聖人」と称される。益城町と大甲区との友好交流協定のきっかけとなり、今なお町の国際交流の架け橋となっている。



西村町長から遺族を代表して表彰状を受け取った(左から)畑野久雄さんの子・畑野琢磨さん(下小谷)、志賀哲太郎さんの親族・澤田寛旨さん(熊本市)

## 春と共に訪れる初市

第34回益城復興木山初市

第34回益城復興木山初市が3月1日、木山横町通りで開催されました。歩行者天国となった通りには露店が軒を連ね、買い物客で活気に満ちあふれていました。中でも、名物「市だご」を求める人々が長い列を作り、その人気ぶりを見せていました。

メイン会場の進行は榎山結さん。迫力ある太鼓の演奏から華やかなよさこい、キッズダンス、恒例のカラオケ大会まで、次々とステージイベントが繰り広げられ、訪れた人々は大きな拍手や声援を送っていました。



初市名物「市だご」を求めてできた長蛇の列



## タスキと一緒に笑顔をつなぐ

益城町リレーマラソン2026

走ることが大好きな益城町! 益城町リレーマラソン2026が2月22日、キズナパークで開催されました。

本大会は、パーク周辺の1周約2kmのコースを、チームでタスキをつなぎ合計10周するハーフリレーマラソンです。学校や職場の同僚、スポーツ仲間など、チーム編成は自由。今年は昨年を大幅に上回る46チーム305人が参加し、会場は大きな熱気に包まれました。

レースは見どころ満載。まるで短距離走さながらの猛ダッシュを見せる選手、一人で3周を走り切る鉄人、練習不足を気合でカバーする挑戦者などランナーたちの姿は実にさまざま。それでも、ゴールした誰もが満面の笑みを浮かべていたのが印象的でした。

【競技結果 部門別1位チーム】

▶一般の部/ツボイ RC 1時間13分25秒 ▶男子の部/かみましき RC 1時間3分24秒 ▶女子の部/UTO EKIDEN GIRL'S 1時間19分4秒 ▶中学の部/県立八代中学校 1時間14分25秒